平成25年度

株式会社マキカンパニー

会社紹介

自社工場を抱える婦人服製造メーカーとして企画提案から製造、納品まで社内で一貫プロデュース

親会社の「ドッグ繊維」が、創業以来アパレル業界で構築してきたノウハウを基盤に、自社内で企画、生産をする子会社として、昭和59年に設立。平成17年には自社工場を立ち上げ、日本製であることのメリット、品質管理・安心感・QR生産など恥じない品質で服づくりを目指す。また、企画段階から、サンプル作成、最終生産まで、顧客の企業戦略をきめ細かくプロデュースし、満足度の高い商品の提供に全力を注いでいる。25年には、海外生産部門として香港に「MAKI(HK)CO.,LTD」を設立。日本の厳しい品質管理、小ロットから大量生産の納期管理をフォローし、安心できる商品を顧客に届けている。

生産部部長 **中野　留味子**

補助事業

自動裁断機導入で生産力・品質向上・価格競争に挑戦

大手アパレルメーカーと連携し、婦人服の企画、生産を行っている同社のモットーは、「品質第一」と「QR生産」。特に品質を向上させるためには、裁断の精度を上げることが必須である。従来の手動裁断では生地積層によって微妙なズレが生じ、細かいパーツで不良を出してしまったり、自動裁断に比べて作業効率が悪かったりなどの理由から、裁断作業期間に日数を要していた。また要尺についても、手動裁断ゆえにパーツ間の間隔が自動機に比べて広く必要で、取り効率のロス軽減ができず、コストに響くなどさまざまな問題が生じていた。自動裁断機システムと延反機・延反台を導入することにより、これらの問題の改善、さらなる生産力・品質向上・価格競争へ挑戦したいと考える。

成　果

高度な裁断技術と縫製力の相乗効果で百貨店ブランドなどの受注に成功

単純な工程の衣料品をメインに製造していた同社工場が、補助事業で自動裁断機を導入できたことにより、高度な裁断技術の確立とこれまでに培ってきた縫製力の相乗効果で、百貨店ブランドや高級ブランドからの注文を受けるようになった。それ以外にも新規の取引先を増やすことにも成功した。また、要尺ロスが約10%削減し、作業経費をカットすることができ、コストダウンに反映できるようになった。作業時間に関しては、手動裁断では、Tシャツを例に挙げると2000枚の裁断に対して最低3日必要だったが、自動裁断機では2日で完了でき、1日短縮できることも分かった。その他にも、裁断のばらつきが解消された、熟練者による作業が一般技術者でも行えるようになった、CADデータの送受信で内外関連会社とのやりとりが瞬時にかなうなど、多くのメリットが挙げられた。

今後の展開

「縫製設備の投資にも力を入れ、マルチな工場として進化したい」

裁断設備が充実したことから、今後は最新ミシンなど縫製設備の投資にも力を入れ、これまでは設備不足で受注不可だった製品の取り組みができるよう、マルチな工場として進化していきたい、と熱く語るのは、生産部の中野留味子部長。「ニットの産地であるここ和歌山で、縫製業を継続・継承し、地域貢献できるよう、技術と工員の意識を高めていきたいと思います」。

会社概要

会社名	株式会社マキカンパニー
代表者	代表取締役　向井　正興
所在地	和歌山県和歌山市出島38-1
資本金	1,000万円
従業員数	11名、和歌山工場28名
業種	婦人服の企画・製造・販売
設立年月日	昭和59年
TEL	073-488-5906
FAX	073-488-5907
E-MAIL	seisan-nakano@maki-jpn.co.jp
URL	http://www.maki-jpn.co.jp